

21. 第9-10回高木レクチャーについて

高木貞治先生の名を冠した講演会「高木レクチャー」は、世界から卓越した数学者を日本に招聘し、専門分野を越えた数学者や若手研究者・大学院生を主な対象とし、創造のインスピレーションを引き起こすような気概に満ちた研究総説講演を行っていただき、日本発の新たな数学の創造に寄与することを目的としています。高木レクチャーをもとにした研究総説は、査読を経て *Japanese Journal of Mathematics (JJM)* に掲載されることになっています。

この趣旨に基づき「高木レクチャー」の創設が2006年3月26日(日)、中央大学で開かれた日本数学会評議員会で承認され、2006年11月に第1回高木レクチャーが京都大学数理解析研究所で開催されて以来、これまでに9回の高木レクチャーが開催されました。

この数学通信では第9回の報告と、第10回の予定をお知らせいたします。

第9回高木レクチャー(2011年6月4日(土)、京都大学数理解析研究所)において、S. Brendle (Stanford Univ.) :

「Evolution equations in Riemannian geometry (リーマン幾何学における発展方程式)」, C. Kenig (Univ. of Chicago) : 「Critical nonlinear dispersive equations: global existence, scattering, blow-up and universal profiles (臨界非線形分散型方程式: 大域存在, 散乱理論, 解の爆発と普遍漸近形)」の講演が行われました。

当日には、予稿のブックレットが配布され、その最終版の研究総説は査読後、JJM に掲載されました (S. Brendle : 6巻1号, C. Kenig : 6巻2号)。講演のビデオは日本数学会情報システム運用委員会と東大数理 Video Archives プロジェクトチームにより撮影編集が行われ、web上で一般公開しております(下記の高木レクチャーホームページをご覧ください)。

第10回高木レクチャー(予定)

日時: 2012年5月26日(土)

場所: 京都大学数理解析研究所

講演者:

Yves Benoist (CNRS, Orsay) :

「Random Walks on Homogeneous Spaces (等質空間におけるランダムウォーク)」,

Assaf Naor (Courant Institute of Mathematical Sciences) :

「The Ribe Program—Ultrametric Skeletons (リーベ・プログラム—超距離スケルトン)」

組織委員: 小野薫, 河東泰之, 小林俊行, 齋藤毅, 中島啓

主催: 日本数学会,

京都大学数理解析研究所

当日は、各講義の概要をブックレットにて配布する予定です。

高木レクチャーの HP

<http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~toshi/>

[takagi_jp/](http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~toshi/takagi_jp/)

で最新情報を掲載いたします。

なお、数学会会員は JJM の各冊子を会員割引価格 7500 円 (+税 375 円) で日本数学会事務局より購入することも可能です。

(小林俊行 記)